

議会だより みなかみ

令和7年
2025年
7月15日発行
84号
群馬県利根郡みなかみ町



バックナンバー
が見られます。



奇雨好晴

6月10日から18日までの会期で6月定例議会を開いた。
報告6件、承認6件、人事1件、契約7件、条例5件、補正予算1件を審議した。一般質問は7人であった(4～11頁)。

6月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	採決結果
報告	第3号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	/
第4号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告		
第5号 令和6年度 一般会計繰越明許費繰越計算書の報告		
第6号 令和6年度 水道事業会計予算繰越計算書の報告		
第7号 令和6年度 下水道事業会計予算繰越計算書の報告		
第8号 土地開発公社の経営状況の報告		
承認	第2号 損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認
第3号 税条例の一部を改正する条例の専決処分報告		
第4号 都市計画法条例の一部を改正する条例の専決処分報告		
第5号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告		
第6号 令和6年度 一般会計補正予算(第7号)の専決処分報告		
第7号 令和6年度 水道事業会計補正予算(第3号)の専決処分報告		
議案	第44号 固定資産評価員の選任	
第45号 令和7年度行政事務用パソコン購入契約の締結	全会一致可決	
第46号 令和7年度消防ポンプ自動車購入契約の締結		
第47号 令和7年度にはるこども園調理室等改修工事請負契約の締結		
第48号 かわまちづくり事業休憩施設建築工事請負契約の締結		
第49号 令和7年度 スクールバス(45人乗り) 購入契約の締結		
第50号 令和7年度 スクールバス(29人乗り) 購入契約の締結		
第51号 令和7年度 カルチャーセンター改修工事請負契約の締結		
第52号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		
第53号 地域公共交通活性化協議会設置に関する条例の制定		
第54号 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例		
第55号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		
第56号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		
第57号 令和7年度 一般会計補正予算(第1号)		
発議	第2号 議案の撤回	全会一致許可
議案	第58号 令和7年度消防ポンプ自動車購入契約の締結	賛成多数可決 12:1

陳情

委員長・議長は採決に加わりません

件名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第2回 みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理事業に関する陳情書	窪田 金嘉	産業観光生活環境常任委員会 継続審査	/

人事

固定資産評価員の選任

次の方の人事案に同意した。 たけうちりえ 竹内理恵氏(下津)

補正

総額 157億9499万円
補正額 5499万円 (端数処理あり)

歳出

上毛高原駅を核としたまちづくり推進事業 …… 700万円
エネルギー・食料品等価格高騰生活支援給付金事業 …… 3581万円
その他 …… 1218万円

歳入

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 …… 3231万円
ふるさと応援基金繰入金 …… 2172万円
その他 …… 96万円



お知らせ

映像配信

議会では令和7年7月(令和7年6月定例会)より、本会議の録画映像をインターネットに配信しております。町民に開か

れた議会を推進するため、議会を傍聴することができない方など、より多くの方にご覧いただけるよう利便性の向上を目指しました。なお、本会議終了後おむね10日前後(土・日曜を除く)で録画配信の視聴が可能となります。

左記の二次元(QR)コードを読み取ってスマートフォンサイトへアクセスできます。なお、その場合はWiFiを安定して利用できる場所での環境を推奨します。「町ホームページ↓くらしと町政↓町議会↓議会映像配信」からも見ることができます。





一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、所信の表明を求めるもの。
執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

- 石坂 武** いしざか たけし
 - ①町職員の処遇と勤務状況を再度問う
 - ②国スポ開催に向けての準備状況は
- 阿部 清** あべ きよし
 - ①行政区の今後の在り方
 - ②旧幸知小学校跡地の活用方法
- 鈴木 美香** すずき みか
 - ①新しい学びに「ラーケーション」の導入を
 - ②矢瀨親水公園、矢瀨遺跡の管理と活用
- 星野 宗央** ほしの かずひさ
 - ①交通弱者対策は
 - ②藤原のスタンドの件
- 石坂 欣也** いしざか きんや
 - ①公共施設の再編と利活用の最適化
- 高橋 久美子** たかはし くみこ
 - ①ユネスコエコパーク定期報告への取り組みと次の10年を見据えた取り組み
 - ②町民の安心に寄り添う
- 牧田 直己** まきた なおき
 - ①定住促進への取り組み
 - ②子どもの体力の保持増進における取り組み
 - ③町のシンボルについて



石坂 武 議員

町長 人事評価制度は適正に活用しているか 適材適所の人事配置に努めている

問 過去に、夫婦で勤務している職員が全く管理職になれないという現実的な状況があった。現在は人事評価制度を積極的に活用し、改善されたという事ではないか。

答 町長 人事評価制度を導入させていただき、適材適所の人事配置に努めている。

問 今回の人事異動により、女性職員が皆無となった課が存在する。支障があると思うし、そういう声も聞く。町長の見解は。

答 町長 性別により業務遂行に支障が出るとは考えていないが、今後は、来庁者等への配慮を適切に提供できるように検討する。

問 町の人口及び職員数は大幅に減っているが、予算については大幅に増えている。結果業務量が増え、職員の精神面・肉体系に過度な重圧を与えていないか。

答 町長 社会情勢、人口構造の変化で、町民ニーズは複雑となり、求めるものは多様化している。予算増・職員減の状況下で職員負担増は事実。現状打開のため、業務効率化・事業事務の廃止も見据えて行革を進める。

問 障害者の法定雇用について、町の雇用実態と障害者雇用について伺う。

答 町長 令和7年4月1日に3人の方を任用し、合計で8人の方が勤務している。しかし、今も法定雇

用率を下回っている。更に改革に向け努力したい。

問 国民スポーツ大会（国スポ）開催に向けての進捗状況は

答 町長 国スポホッケー競技の誘致に伴い、開催決定に至った経緯について伺う。
答 教育長 小・中・高と地元の学校でホッケーが継続的に行われており、適した施設を有していることから、大会の理念に基づき、ホッケー競技の開催を希望し、令和2年11月に県準備委員会常任委員会において、令和11年のホッケー競技をみなかみ町で開催する事が決定された。

問 国スポ開催に向けて決意を一言お願いしたい。

答 町長 令和11年に開催される国民スポーツ大会は町にとっても、地域の魅力を全国に発信する絶好の機会と捉えている。
答 教育長 スポーツイベントにとどまらず、地域の発展や次世代の継承にも繋がると考えている。大会が成功を収めるよう全力を尽くしていく。



月夜野ホッケー場





星野 宗央 議員

交通弱者対策は待ったなしの課題

町長 安心して住み続けられるまちづくりは当然のこと



問 既存の公共交通のみでは不十分ではないか。

きたい。最低でも現状維持と思っている。

藤原のガソリンスタンドの件

問 藤原地区のガソリンスタンドの状況は。

さんに大変ご協力をいただきありがとうございます。地区住民の方々に生活上の不便がないようにこれからも寄り添っていききたい。

答 **町長** バス路線の減少や減便、タクシードライバーの高齢化による台数の減少で、高齢者を始めとした住民の利便性の低下が大きな課題。また、駅からの乗り継ぎ、二次交通の少なさも観光の町としては大きな課題。

答 **町長** 平成24年度に合同会社藤原石油が設立され、藤原地域で唯一のガソリンスタンドの存続ができていた。3つの法人からなる合同会社藤原石油も12年目となる令和6年6月頃、営業継続の危機に直面し、人材不足により従業員の紹介を町に要望されたが、人材は見つからず、令和6年8月末で終業した。

問 今後ガソリンスタンドの施設が減少していくことになれば、住民の生活が困難になるのではないかと思うが。

問 高齢化が進んでくれば、対策が必要になってくる。町にとつての交通弱者対策は待ったなしの課題だと思うが。



上毛高原駅のバス停留所

答 **町長** その後の町の対応などは、地域や地元の民生委員の皆さんに大変ご協力をいただきありがとうございます。地区住民の方々に生活上の不便がないようにこれからも寄り添っていききたい。

問 今後の町の対応などは。

答 **町長** 高齢者の方に不便をかけるということのは、近所同士のコミュニケーションはもちろん大事。地域で支え合うコミュニケーションの情勢というものも、行政が何をお手伝いできるかということも、しっかりと考えていく。町政としては、困った人に寄り添う姿勢を今後も貫いていきたい。

答 **町長** 地域や地元の民生委員の皆さんに大変ご協力をいただきありがとうございます。

答 **町長** 安心して住み続けられるまちづくりは当然のことだと思う。国土交通省の指導を仰ぎながら、町に合った公共交通を充実していきたい。



石坂 欣也 議員

町有公共施設の最適化について

教育長 利用内容での活用が可能か否かを見定めて



問 体育館の現状と課題。

公共施設予約システムで3か月前から申込可能である。

答 **教育長** 生涯学習課所管で一般に貸出しを行っている体育館は、月夜野総合体育館、月夜野名胡桃体育館、月夜野南部体育館、月夜野北部体育館、水上社会体育館、水上南部体育館、水上中部体育館、水上北部体育館、入須川体育館、新治B&G海洋センターの10施設。それぞれ地域のスポーツ団体や合宿、各種催物などで使用。

問 図書室の現状と課題。

答 **教育長** 一般に貸し出しをしている図書室は、中央公民館、水上公民館、新治公民館、カルチャーセンターの4か所。課題は施設の老朽化や利用者の伸び悩み。

課題は老朽化や利用率の低下があげられる。ただし、一定の利用者を抱え、町の指定避難所となっている場所もあるので、必要に応じて修繕を行いながら使用していく。講演会や催物など多目的利用も必要に応じて検討している。申し込みの流れは、5施設について

問 オンラインネットワークの構築はされているか。

答 **教育長** 4か所の図書室をネットワークで構築するシステムを導入しており、インターネット上から検索や予約をすることが可能。また、図書室相互で連携をとって



中央公民館の図書室

問 町有公共施設の最適化、現状と課題。

答 **町長** みなかみ町公共施設等総合

問 公共施設の統合と再編。

答 **町長** 令和5年10月に改訂したみなかみ町行財政改革基本方針中期行動計画において、見直しが必要な施設を見える化し、優先的に長寿命化に着手する施設や、休止、廃止、除去もしくは解体除去を選択する施設を整備している。粛々と進めている。



高橋 久美子 議員

人材と組織機能の確保が必要では 町長 未来へ続くものであり必要と思う



問 ユネスコエコパークに登録され8年が経過。登録されれば終わりではなく、10年ごとに定期報告で登録の是非が問われる。登録から今までの具体的な取り組みや成果は。



町内小学校のユネスコエコパーク環境学習

答 町長 エコリズムの一層の推進、学校での環境学習に対する支援や環境学習発表会の開催、ウドスタート宣言による木の推進など、人を育む取り組みを行ってきた。また、自伐型林業を核とした森林資源の循環によって、社会、経済、環境の3つの側面で発展を目指す、『水と森林と人を育むみなかみプロジェクト2030』がSDGsの未来都市計画として選定。町の理念や取り組みに賛同いただいた多くの企業と連携協定。ネイチャープोजティブプロジェクトは国内でも例のない先進的な取り組み。今後国内でもトッランナーとして期待される代表的な取り組みの一つ。いずれも将来に向けた持続可能な町の発展に大きく寄与。多くの方が移住先として町を選んでいただくなど、ユ

問 定期報告の概要とスケジュール、再登録の見通しは。

ネスコエコパークの持つブランド力は、今後の町の発展に向けても大きな成果。

答 町長 10年に一度の定期報告が義務。その間の取り組みやエリアの状況等を調査・報告し、今後の方向性を示す必要がある。2027年6月頃に和文・英文の確定版を国内委員会に提出。9月頃にユネスコへ提出される見込み。引き続き継続の考え。

問 ユネスコエコパークの世界ブランドをさらに磨きかけ、自然との共生で持続可能な町にしていくための根幹の部分の永

答 町長 専門的内容も多く、一括して全体を管理していく組織等、継続的に専門的知識を持った人材に係る体制づくりというものは必要。ユネスコエコパークは短期的な取り組みでなく、10年後、20年後とずっと先の未来へと続くもの。関係者の意見を聞きながら検討したい。

*他に避難所の空調設置状況やAEDに三角巾の配備など質問しています。



牧田 直己 議員

みなかみ町に住みたい方へ 町長 外からではなく、県内からというのは非常にいい着目



問 外からいかに人を呼ぶかがよく焦点になるが、当町に住みたいが住めなかった方へもつと焦点を当てるべきと考える。県外移住者、県内移住者の人数、そのうち当町から県内移住先の内訳は。

答 町長 当町からの転出者数が564人。そのうち252人が県内移住をしており、沼田市への転出は86人といちばん多い。

問 沼田市へ移住を選択した方のうち、おおよそ何割の方が、当町に住みたいが住む場所が

注 転出者が564人で転入者は507人のため、57人が転出超過している。県内転出者が252人で転入者が210人のため、42人が転出超過している。

ないから沼田市を選択したのか。またどのような方々か。

答 町長 現在町としては調査を行っていないが、一定数はいると認識している。今後、アンケート等、把握できる仕組みを検討する。

問 沼田市と渋川市への人口流出数は126人。仮に3割が当町に住みたいが住む場所がないから転出していた場合、約40人の転出を防ぐことができる可能性があり、県内への転出超過数の42人はほぼ解消するのでは。

答 町長 社会減のさらなる減少に当然効果はあると認識している。民間への賃貸住宅建設に対する補助事業を早期に行う。また空き家の流動性を高めるため、空き家内の片付けや清掃費用、住宅敷地内の

竹木等の伐採費用の補助も行って。空き家バンク登録も促進していく。

子どもの体力の保持増進

問 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査があった。当町の児童生徒は。

答 教育長 全体的に下降傾向である。体力向上を今年度の重点課題の一つとして、学校に取組みの強化を依頼している。

問 全国学力調査について何う。当町の現状は。

答 教育長 6年生は国語は全国平均を上回り、算数は全国平均とほぼ同じ。中学3年生は、国語、数学ともに全国平均を上回った。令和5

問 教育長の考える学力を高めるために重要なことは。
答 教育長 教育指針である「絶えず考える」ことに重点をおいて取り組んでいくことが大切である。

問 町のシンボルについて
答 町長 今後の町が進むべき方向性を鑑み、町の鳥等シンボルの追加を町民と考えてはどうか。

答 町長 十分追加も可能だ。町民から意見を頂き、考えていきたい。

活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

4月14日 総文委員会レポート

視察 令和6年度消防団第1分団第4部下牧詰所新築工事

消防団の活動拠点である消防団詰所の完成現場を視察した。

消防団は地域に最も身近な防災機関として多大な信頼と期待が寄せられている。しかしながら、昨今の就業構造や家族構成の変化、さらには少子高齢化により、新入団員の確保が非常に厳しい状況にある。その反面、火災を始め風水害や土砂災害などの対応は多様化しており、消防団員の参集場



所である詰所の整備はこれからも必要である。

この詰所は車庫を兼ねた木造平屋建て、延床面積89・43㎡、配置車両（小型ポンプ積載車）、居住スペース20畳（フロアリング+畳）、ミニキッチン、エアコン、男性用トイレ、男女兼用トイレ、玄関スロープを備え、木材は県産材を使用している。

旧詰所は、備蓄倉庫として残し、区管理のものと活用する。

町民の皆様には、地域防災がいかに重要であるかを改めて認識していただき、消防団に対するご理解を賜りたい。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

4月15日・5月16日 産観委員会レポート

4月15日・5月16日の議題

- 日帰り温泉施設の現状と今後のあり方
- 外国人宿泊者数と上位10か国の経済成長率
- 湯原温泉街駐車場の使用状況と課題
- 農業の担い手不足への対策
- 群馬県へ土木要望個所の確認
- 水紀行館、たくみの里豊楽館のトイレ・冷房施設等の修繕報告

委員長のまとめ

当委員会では、観光施設の今後の展望、農地の活用や担い手不足への対策の検討、安心の暮らしのための道路・上下水道インフラ等について議論が行われている。



まんてん星の湯（七夕の湯）

当町の人口動態を踏まえた持続的な施設運営の在り方を考え、より魅力的な観光地となるために現場からの意見を大切に、地域の現状と未来を見据えた前向きな議論を行っていききたい。

まちの匠 machi no takumi

まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識、技能や技術を持つ方のことです。
みなかみ町の匠を紹介します。



増田 亘 さん Masuda Wataru (39歳)

鉄工の匠

匠ナンバー
10



— 生まれたところ、育ったところ —
旧月夜野町

— どんな匠なのか —
鉄工所の三代目です。中学時代、技術と美術の成績は下位。おそらく、日本一不器用な職人です。

趣味はサウナ！ サ室から出た後のみなかみの美味しい空気と水が大好きです。
従来からの溶接などに関わる仕事をしながら、鉄工の技術を応用したオーダーメイドの家具づくりや道の駅を中心

としたスプーン作り体験（スプーン・メイキング）のワークショップを展開しています。「にっぽんの宝物JAP ANグランプリ2024 | 2025」に出場して体験価値・創造部門で審査員特別賞を受賞しました。

— 匠になった経過 —
高校生の時から家業を継ぐことを思い描き、卒業後にまがず人とのコミュニケーションを学ぶため地元のガソリンスタンドへ就職。その後、建築現場で監督を経験し、職人さんとの関係性を深めました。

さらに水力発電関係の会社で鉄工技術（特殊溶接や塗装）を学び、技術を習得しました。現在、創業50年以上の家業を父から引き継ぎ、4年が経過しています。

— 次世代へ継承したいこと —
鉄工所を次世代へつなぐこと、町工場の魅力を伝えるために体験型ワークショップを通じて「ものづくり」の喜びを発信したいです。ものづくりの喜びを多くの人に伝え、地域の発展に貢献できるように努めています。一緒に新たな価値を創造していきましょう。



取材中、お二人の会話の中で、三代目の亘さんは「家業を継ぐことで親子のコミュニケーションが生まれ、仕事を通してできる父親との会話は宝物です」と語りました。二代目である父親の芳明さん（83歳）は「老いては子に従う」とおっしゃっていました。親子関係を築く素晴らしい姿に感動しました。



★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

6月定例会にて一般質問した人数は？

- Ⓐ 10人 Ⓑ 8人 Ⓒ 7人

前回の議会日より83号ふるさとクイズの正解は『㊀ 157億円』でした。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
みなかみ議会だより「クイズ・感想」係
締切：令和7年8月31日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

379-1390

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だより
「クイズ・感想」係

料金受取人私郵便
沼田局承認
1154
差出有効期間
令和8年3月31日まで
(切手不要)

— 記入欄は裏面にあります —

山折り線



メジロ親子 (撮影場所：羽場)

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

…………… 流れ ……………

- ①受付にて「受付表」に記入する(住所・電話番号・氏名)
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱に入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

次回の定例会は

9月 2日(火) ~
9月12日(金)の予定

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問い合わせ先】議会事務局

☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

- 委員長…江口 樹
- 副委員長…河合 史将
- 委員…茂木 法志
星野 宗央
鈴木 美香

編集アドバイザー
利根川太郎

編集モニター
利根商業高等学校生徒

梅雨が明け、いよいよ夏本番です。海水浴や花火大会など、夏らしいイベントも目白押し季節がやってきます。
また、今年のみなかみ町合併20周年を迎えるにあたり10月4日(土)に記念式典が開催されます。20周年という節目の年、これまでの歩みや今後のみなかみ町を考え、発信していく機会にもなると思います。
今回は令和6年10月より議会だより編集特別委員会に選任となり、初めての編集後記を担当させて頂きました。委員会の活動では取材や特集の考案、議会だよりの構成や文章の確認など委員会メンバー全員で、協力して行なっております。また、町民の皆様からの感想や貴重な意見を頂き有り難ございます。意見を聞きながら、今後も町民の皆様議会に活動などを知って頂けるように分かりやすく、また興味を持って頂けるような編集構成に努めてまいります。
(茂木 法志)

編集後記

よせられた感想

40代
今年度の予算157億円は、想像つかない金額で概算を見ると、町の新しい事業、現在ある維持費、いろいろあるのだと実感しました。議員の視点、反映されること期待します。お顔が見えると親近感がわきますね！
(月夜野)

70代
「まちの匠」の記事、親子で映像関係のお仕事に励んでいる様子を見るのができて、とても心温まる内容でした。
(羽場)

群馬県町村議会議長会表彰



小林洋議員、石坂武議員
群馬県町村議会議長会より感謝状を授与されました。

感想



皆さんの感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。



ヤグルマソウ



← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

○クイズの答え ⇒ _____

○住所 ⇒ _____

(ふりがな)
○氏名 ⇒ _____

○年代 ⇒ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を
付けてください) ・40代 ・50代 ・60代
・70代 ・80代～

谷-折-り-線

○議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ